

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たから		公表日		2025年12月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて児童が利用するスペースを分けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適度な距離を作りつつ、死角を作らないよう支援している	・支援充実のために、今後、必要に応じて職員を増やしたり、調整が出来るようにする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・トイレには手すりの設置の他、イラストや掲示ポスターなどを使用。視覚的構造化、手順書を各所に取り入れている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃・アルコール消毒を徹底している ・活動に合わせてスペースを分けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・アコーディオンカーテンを使用し活動に応じて分けている ・配慮が必要な児童や体調不良時には個室にて対応している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・朝礼・会議等で、日々の振り返りや話し合いを行い、情報の共有とサポートの見直しを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の方からのご意見やご意向を職員間で共有し、改善につなげている ・振り返りシート等を使って、悩みや意見を共有する場を設けている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・業務を行う上で気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は実施していないが、外部の相談支援専門員等からの助言を受け、事業所の運営に役立っている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・積極的に研修へ参加し、支援の質を高めるよう努めている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・職員間でアセスメント会議を行い、本人、保護者の方の聞き取りをして、細かいニーズを取り入れた支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、会議等で支援の方法を検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・週一回の会議において、職員全員が共通認識の下で支援を進めることが出来るようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者の方には連絡帳、職員間では支援記録を日々作成しているので、常に状況を確認出来ている	・標準化されたツールでのアセスメントについては、今後、必要性を検討した上で適切な手法を取り入れるようにしていく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・支援計画に内容を盛り込み、それぞれにおいて具体的な支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備などは分担してチームで協力しながら行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもの特性や状況に応じて、柔軟に対応することを心がけている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの発達段階に応じた個別活動、集団活動では楽しくみんなでき取り組めるよう職員間で相談しながら支援を行っている		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼でその日の支援内容や役割分担について確認、児童の状況なども職員間で共有した上で支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援についての改善点や、何か気になることがあった時は、職員間で共有するようにしている	・子ども達との関わりの中で良かった点などについても、その日のうちに職員間で共有できるようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・職員間で共有したことを基に、個人の支援記録を毎日作成し、モニタリング等に役立てている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度、保護者の方や学校などと連携して情報共有を行い、児童の全体像把握に努めている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・ガイドラインに沿った内容で社会生活を見据えた支援を行っている ・季節の行事や遊びの中で成功体験を増やし、無理なく楽しく活動できるよう支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・質問形式の問いかけに対して、自分の想いを表現する活動を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・原則、児発管が参画している	・児発管を中心に必要に応じて関わりが多い複数の職員での参画していきたいと考えている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・契約時に医療機関等の連絡先を把握し、連携の体制を整えている	・関係機関との連携を密にし、より良い支援が提供出来るよう、コミュニケーションをとっていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・行事予定や下校時刻などは保護者の方から情報をいただき、共有している ・学校側が提供しているアプリを利用し情報を共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・施設同士での情報共有は現時点ではしていませんが、保護者の方からの聞き取りや書面での記録を基に、支援を考えている	・今後必要があれば連携がとれるような体制を整えていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行先の施設には、これまでの支援内容等の情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・今後必要があれば検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・お出かけの際、公園などで会った子どもと一緒に遊ぶことはある	・今後必要があれば検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・他の支援機関との連携を深めるためにも、今後機会があれば可能な限り参加をしていきたいと考えている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・病院で行うようなペアレント・トレーニングは実施していませんが、保護者の方からの相談の際には助言を行っている

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行い、質問等あればその場でお答えするようにしている	・変更等ができた場合には保護者の方に周知するようにしていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時に本人や保護者の方のニーズをお聞きし、それに基づいた支援を考えている ・新たなニーズが追加される度に保護者の方にその都度確認しながら支援を考えている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいた上で署名をいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談だけでなく、電話での相談を受け付けており、支援方法などを提案している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者会等の参加が難しいとのご意見をいただいていたので実施していませんでしたが、ご家族で参加していただけるような交流イベントの企画を検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・重要事項説明書に第三者窓口について記載している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・HPやSNSでの発信は以前より行っていましたが、今年度より季節のお便り：新聞を作成、活動の様子をお知らせしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・状況に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思疎通ができるよう努めている	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今後、保護者の方からのご要望があれば、検討をしていく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っている	・お便り等で全員の方へのお知らせを徹底していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・薬等の必要な児童の保護者の方より、状況を共有し確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に保護者の方から聞き取りをして記録・把握した上で食事やおやつを提供をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や訓練を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に、非常時の対応について説明を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・週に一度の会議の際、その週に起きたヒヤリハットについての情報を共有し、再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会主導のもと研修を行い、知識の共有をしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在は対象児童がおりません ・保護者の方へ必要に応じて十分な説明を行ない、支援計画へ記載する	